

# はばたき

大分大学教育福祉科学部  
附属小学校便り No.2  
平成27年 6月26日

## ～附属小学校の生活指導～

生活指導主任 藤田 光茂

大分大学の教育福祉科学部が、平成28年度より改組され教育学部になります。それに伴い附属小学校の使命も質の向上が求められ、以下の3つにバージョンアップしました。

- ①「地域教育への貢献」・・・地域の先進的・先導的なモデル校として、大分県教育委員会と連携して実践し情報を発信する。
- ②「教育実習生等への指導」・・・学生の教育実習を計画し、直接その指導にあたる。
- ③「大学への協力」・・・学部教員と協力し、教育理論と実践の往還を通じた実証的な研究を行う。

その3つの使命を果たすべく附属小が、4月より改革を進めています。特に①「地域教育への貢献」にある、地域の先進的・先導的なモデル校として今、学校全体で取り組んでいるのが、生活指導の立て直しです。先月号の「はばたき」の中で校長先生の話にもありましたが、学校教育活動全体の基盤（根幹）になるのが生活指導です。その3つの重点項目が、「無言掃除」「気持ちのよい挨拶」「トイレのスリッパ」です。

「無言掃除」とは、しらしんけんに掃除をすること。そこには、しゃべる時間すら惜しんで掃除をする姿。しかし、昨年までは、無言掃除とはほど遠いものであったと感じています。今は、約600人が静まりかえった校舎を黙々と掃除をしています。私が、ある児童のそばにいても、私の存在に気づかないで、汗を流しながら一生懸命に掃除をしています。それぐらい集中して掃除をしている姿に感動すら覚えます。

「気持ちのよい挨拶」では、6年生を中心にワンストップ挨拶を実践しています。どの学年も6年生のように気持ちのよい挨拶を目指していて、来校した方からも挨拶がとても素晴らしいとの声をよくいただくようになりました。

「トイレのスリッパ」では、トイレはその家の顔だと言われるように学校の顔としてとらえ取り組んできました。その結果、トイレのスリッパが、きれいにそろえられている気持ちの良いトイレになってきました。

4月から、校長先生を中心に教職員が一丸となって取り組んできた成果が、確実に子どもたちの姿として現れてきました。夏休みを迎える前に3つの重点項目を達成させ、さらなる質の向上へと取り組んでいかなければいけません。そして、与えられた使命を果たすべく教職員が一丸となって全力で取り組んでいく覚悟です。

きれいにそろえられたスリッパ



しんけんな無言掃除



廊下にスリッパチェック表を貼ったり、帰りの会でスリッパ点検係を作ったりして取り組んでいる学年もあり、きれいにそろっていることが多くなりました。無言清掃の様子も、職員で見て回りながらしんけんな様子を褒めています。

## 《7月の主な行事》

1日（水） 期末 PTA 1・2年

5年県立美術館見学

6日（月） 香々地宿泊体験学習 3・5年

2日（木） 期末 PTA 3・4年

7日（火） 香々地宿泊体験学習 3・5年

3日（金） 期末 PTA 5・6年

17日（金） 1学期終業式